

中学通信

3月号 第31号

編集発行

安八郡輪之内中学校

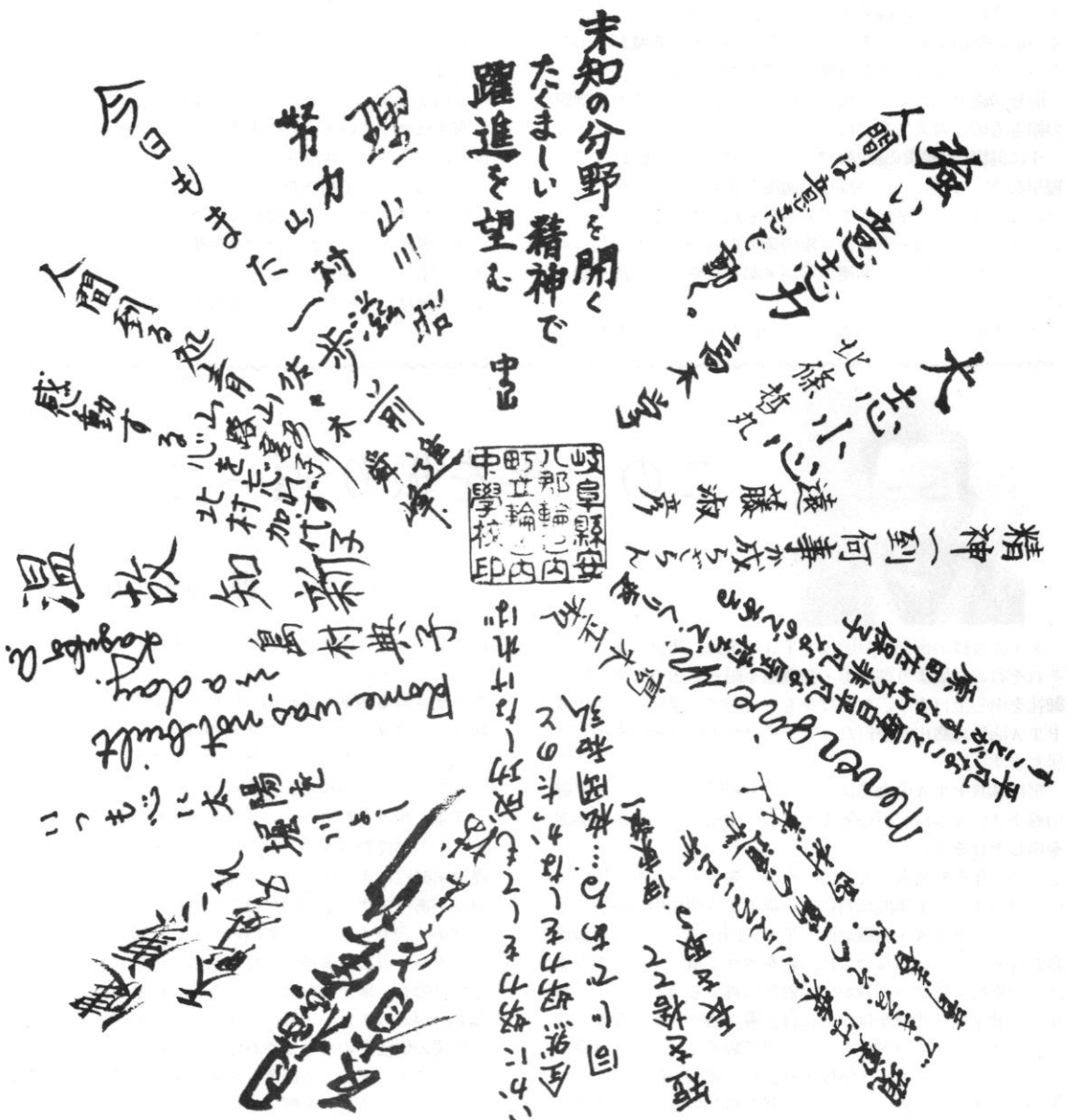
P T A 会報委員会

印刷所 田中印刷興業株式会社

発行 昭和55年3月

卒業おめでとう

ここに恩師の心の泉をおくる





1 に健康, 2 に人柄, 3 と 4 がなくて, 5 にあたま

輪之内中学校長 中 島 修

果立ちゆく120名の諸君に心から「おめでとう」とお祝いを申し上げます

皆さんは由緒ある本校の伝統と校風をいやがうえにも高め、本校の歴史に輝かしい1頁を書き加えてきました。

皆さんの誠実あふれた努力に対し、改めて賞賛と拍手を贈り、その労をねぎらいたいと思います。

今就職がきまり、進学がきまっても心を緩めないでほしい。人の一生は、木に年輪のあるが如く、竹に節があるようにいくつかの折目がある。チョットした心の緩みに悪魔がしのびこみ、せっかくの人生を台無しにする人がある。

前号の終りに、3つの視点を掲げておいたが、それは標題の如きものと考えてみてほしい。

1に健康 健康の秘訣は特別なものは一功あるまい。“早寝早起き、食事は腹八分目、適度な運動、イライラクヨクヨのない暮し”と平凡なことで誰しも知っていることで、この平凡な事実の積み重ねは至難の業であるがやらねばならぬこと。それに人柄にも関連するが笑顔をやさぬ生活を望みたい。

2に人柄 人柄・人格というのはわかるようでわからない

いものである。私たちはその得体の知れない人柄を目標に磨きもし、鍛えもし、養ないもしようとしている。このむずかしい人柄を「水」に置き換えてみると、その一面がよくわかってくる。それは「自ら清うして他の汚れを洗う」という一則。

ともあれ、人柄のよしあしは急に努力してもできるわけではない。成長の段階に育てられてくるもので「氏より育ち」とはこのことであろう。

心と形式が一致して、笑顔をやさぬことが大切ではないか。なかでも奉仕ができることこそ善人と言えよう。

5のあたま 世間にはどんな学科もよくできるズバぬけた秀才はざらにいる。この秀才がいつも世界をリードする実業家になったり、政治家になっていると言えない。

だからといって勉強をおろそかにしてよいと言えないが、なにかがあるはずだ。基礎はミッチリたたき込み、それをつかって専門とする方面で能力を発揮し、自信があり、頭の機能が非常によく働くことこそ、大きな夢も達成できよう。明るい未来は日々の努力の積み重ねあるのみでは。



この一年を振り返って

P T A会長 森 島 五 男

P T A会員の皆様、日頃はP T Aの活動、運営にあたり、それぞれの立場より御指導・御鞭撻を賜って居ります。厚く御礼を申し上げます。おかげをもちまして大過なく54年度P T A活動に終止符を打たせて頂いたものと確信を致して居ります。

常に私共P T Aの近くにありながら幅広い視野に立って御指導下さいました、校長先生をはじめ諸先生方に心より感謝を申し上げます。

この一年を振り返って見て所見の一端をのべさせて頂きたいと思います。本年度は特に安八郡P T A関係の当番校と云うことで県P T A・西濃地区P T Aの関係の会合あるいは研修会等と、いろいろな会合に出席をさせて頂いたのであります。研修会に於ける「我が子を健全に育てる為」「我が子の健全なる成長をはかるには」等 色々テーマをかがけられ、話合の場に出席致しました中で数多く耳にした言葉に「学社連携で」「家庭・学校・社会の三者が一体になって」等がありました。皆さんもずい分聞かれていますと思います。子供達が健全な成長をつづけて行く為には家庭と学校をそれぞれ切りはなして考えて行く事はできない様です。子供達が

成長をつづける段階に於いて最も必要なものは家庭生活をとおして親あるいは家族から感じ取って行く家庭内の流れかつあみ出される感覚・感情的な行動・その中に生れてくる価値観・心の発達・社会性、だと云われます。これ等人間をつくり上げる為の要素の全てが無意識の間に家庭の中で育て行くのです。一方学校は、公的な教育の場として知徳体をバランスよく組み合わせながら子供の成長をはかり6.3.3.4制に基づいて学校教育をつづけて行く所である訳です。やはり基礎は家庭内にある様です。学校の教育には文部省が示す指導要項があります。学校内にはそれぞれ学校で作られた教育課程がある訳です。所が家庭内にはそれに類するものがあるでしょうか。現在の多様化した社会の中にあつて親として信条もゆれ動き多様化すればする程各家庭にもっとも個性的なものがあつてよいと思います。特に子供育ての上において子供達の個性をのばしてやれる様な父親であり母親でありたいものです。その上に健全な家庭が築かれ健全な家庭教育が生れると思います。家庭と学校の間にあつて輪中P T Aの益々の奮起を望みます。

今年も力作が集まる

たこ大会

今年も「冬休み中の余暇を利用し、冬休みを有意義にすごそう。」とたこ作りが生徒全員の課題になり、冬休み明けの体育館に次々と力作が運びこまれた。それぞれの苦勞を話しながら、錦絵の美しさに暫し足を止める姿があらこちらで見られた。尚、1月10日にはデザインの審査、14日にはたこあげの審査がおこなわれた。特に、たこあげの当日の天候が、やや不順であったため、生徒たちは、非常に苦心をしているようだった。以下はその結果です。

デザインの部 ◎最優秀賞	
1年	青木竜徳 伊藤将章 小沢康一
2年	◎金森恒雄 ◎河合辰巳 森島浩孝 内堀洋伸
3年	伊藤 均 村田文彦

たこ作り

一柳 賢司
浅井 光寿

ぼくたちが、中学生になって、初めてのたこ作りでした。はじめはどうやって作ったらよいのかわかりませんでした。先生がたこの本を図書館でかりてきて、くれたのでつくりやすいことをさがした。冬休みになって、A店で材料を買った。角材は強そうなのを選んだけど、重すぎて、飛ばないといけないので、軽い角材にしました。しょうじ紙のかわりにカラーセロファンを使った。12月31日(月)から作り始めました。1日のうちで外形をつくってしまいました。アンバランスですが一応はつくりました。そして正月の三日がすんでからまたがんばってつくりはじめました。カラーセロファンを張って、5日の日に、風が強かったので、テスト飛行をしたら糸のつないである角材がおれて、セロファンが破れ、バラバラになってしまいました。父の意見などをきいて、がんばるように修理しました。もう一度とばしてみると、前とはせい反対によくとんだので、大成功だなーと思いました。あとは学校で上げるのをまつだけです。学校で上げる時間になって、よく飛んだけど、落ちてもう飛ばない状態になりました。しかし、あきらめず修理の結果もとどろりになったので、決勝に出て、飛ばすことができたのでうれしかった。そして最優秀賞をとれたのでこのうえなくうれしかった。

たこあげの部

洋だこ		立体だこ	
1年	水谷和正	1年	◎一柳賢司
2年	◎近藤勝也 中島正雄		◎浅井光寿 箕浦 明
3年	金森勘二	2年	吉田和彦
		3年	村田文彦
和だこ			
1年	伊藤将章		
2年	◎中島 学 河合辰巳		
3年	森島 浩 小林 初		



苦勞したこと

金森 恒雄

冬休みに入って、休み中に作る凧について、まずいろいろ考え、今年も去年と同じ錦凧を作ることにした。

去年は、江戸錦絵凧(宇治川合戦)の浮世絵をかいいたが、今年は、同じ錦絵凧(和唐内)をかいいた。

作る凧を決め、作業にかかり材料を集めたが去年売っていた大きな凧紙が売っていなかったの去年より一まわり小さな凧を作ることにした。

まず下絵をかいいたがあまりうまくいかず3枚くらいかいてやっと下絵が出来た。

色は、ぬってもなかなか乾かないので、一度にぬれず少しずつぬっていった。

しかしそんなことをやっていると時間がかなりすぎるのでドライヤーで乾かしながらぬって絵が完成した。次に、骨組をつくった。

竹をうすくするのは、むずかしかったが、必要な分だけつくり骨を組んだ。

この骨組に錦絵をはり、うらばりをして、糸をつけて、完成した。完成して“やった”という感じがした。

明日に向って!!

私の好きなことば

3 の 1

少年老い易く学成りがたし
 Man who can't even do cleaning isn't MAN
 優しさが少しずつそして素直に出せたなら
 ハードな生き方もシャレてくるぜ
 THE WAY OF THE 王者
 A friend in need is a friend in deed
 I am a 「成りあがり」
 FREEDOM 自由
 LET'S ME LOVE YOU
 ロクデナシだよなあ……………俺はよお……
 人に千日の好なく 花に百日の紅なし
 青春は初恋。季節の中で人は旅立って行く!
 いつも問題を持ち、その問題解決のため
 全力を尽くせ。

再 会
 自分の人生は、自分でやりとげる
 ゆっくり着実なのが結局勝つ
 いつか 誰にも聞こえてくる(訪れる)
 「卒業のテーマ」

“裏街道の青春 叫び”
 止めれるか俺たちを
 今こそ君は立ちあがるべきだ!
 男の旅には、終わりはない……………
 A DAY

大胆にして、細心であれ
 小心と粗放に勝利はない
 歩き続ける時……………

私は、大切にしたい。過去へ戻ることなく明日
 へ達することのない時を……………

青春ど真中……………やりたいことは、今、精一杯やろう
 青春が終わらないうちに……………
 友よ……………いつの日にか自由を、俺達の手で……………
 昨日をふりかえることなく何事もやろう……………
 いつも心に太陽を……………

まさかの友こそ 真の友
 よき友達こそ、信頼のもてる友である!
 私の人生なんて宇宙にくらべたらまたたき程度なんだろう
 な。でも私にとってはたった一度の人生……………

伊藤 勝彦
 伊藤 泰章
 大橋 武夫
 片野 俊弘
 加藤 恒裕
 金森 勘二
 近藤史佳男
 田中 悟
 坪内 三尚
 中島 義信
 西脇 勝利

野村 豊
 菱田 勝博
 松岡 賢二
 松岡 誠司
 村関 博孝
 村田 文彦
 森島 正行
 安田 操
 山田 耕司
 山田 俊英

青木 恵子
 浅野恵美子
 浅野真由美
 安藤智恵美
 千春 千春
 片野よし子
 河合きよ子
 河村 紀子
 小柳由美子
 近藤 清美

希望をもって生きなければ、青春が泣く 佐藤 孝子
 運命で人の人生が決められているのなら、与えられた人生
 を悔いのないように生きたい 佐藤 朋美
 青春プラスアルファ 篠田美智子
 心を開いてごらん、わずかだけど
 希望の光が見えるから…………… 田中 弥生
 ただ一度の青春を悔いなく生きる
 それが本当の栄光だ! 土井田加代子
 我らが帆をはって航海に出るならば
 羅針盤は理性で情熱は台風である 西松 美幸
 友 それは私にとって 唯一の宝物です 西脇 尚美
 夢を待って暮らすよりも
 夢を追って行く 夢追い人でありたい…………… 吉安 美晴



3 の 2

苦しみを乗り越えてこそ喜びが生まれる 朝倉 聡
 There is no such word as
 impossible in my dictionary 浅野 敦司
 だけど今夢がある ささやかな夢だけで
 あしたがあるから…………… 荒川 浩
 ロクデナシだよなあ……………俺は…………… 伊藤 均
 おのれのごとく汝の隣人を愛すべし 伊藤 勝重
 過ぎゆく時、帰らない思い出 伊藤 正則

逃げも隠れもせぬ 一柳 透
 少にして学べば、則ち壮にして為すことあり 稲葉 享
 己を信じ、後ろを振り向くな 今津 謙次
 苦しみのあとに喜びあり！ 太田 政孝
 広く愛を！ 加納 雅高
 人生は長い、最後までベストを尽くせ！ 小塚 英雄
 ゆめゆめ我ということあるまじく候 佐々木 優
 人は皆だれでも愛を信じてささやかな人生を
 歩きつづける 田渡 晴康
 心ここに在らざれば視れども見えず 堤 清貴
 人生は勤むるに在り 西松 悟
 柔も亦茹わず、剛も亦吐かず 古川 勝富
 今日を精一杯生れば 明日は今日と

違った新しい太陽が昇るはずだ 松岡 茂
 失した心を とりもどせ……今 山内 繁
 野に育つ花ならば 力の限り生きてやれ……今山中 修
 歩けば土つく 山中 博
 誠は天の道なり思うは人の道なり 渡辺 恭司
 Saying is one thing and doing another 浅井 順子
 Still water run deep 静かな水は深く流れる 浅尾 早苗
 青春と失った時とは永久にもどってこない 浅野かよ子
 太陽が輝くかぎり希望もまた輝く 荒川 尚子
 人は誰でも自分の人生に於ての主人公である 伊藤 正子
 けわしい丘に登るためには 最初にゆっくり
 歩くことが必要である 大橋 淳子
 人生とは、切符を買って軌道の上を走る車に
 乗るひとにはわからないものである 大橋ますみ
 Love in a spoon 大橋ゆかり
 いつも道化師のような笑顔を忘れずに 小川 容子
 You make me happy 夢行身発飛 小澤三千代
 今日を捕えよ。できるだけ明日に頼らないで 川瀬多恵子
 人生における大きな喜びは君にはできないと
 世間がいうことをやることである 栗木昌寿美
 かなわぬ夢でもやっぱりこの夢貴重な宝物 高木 裕子
 世の中は海に似ている。泳げない者は溺れる 田中恵美子
 幸福な人間は時計に無関心である 寺倉 早苗
 希望は強い勇気であり、新たな意志である 松内里枝子
 精神一到何事か成らざらん 森島きみ子
 人生において偶然を考慮に入れないならば
 ならない 森島 恭子

3 の 3

南無阿弥陀仏 青木 幹基
 成り上り…硬派…最高…よろしく…明日を語るな

I LOVE YOU OK 浅野 英樹
 MAKE AN EFFORT 小川 俊彦
 希望 小川 正幸
 Hunger is the best sauce 片山 博之
 SEE YOU AGAIN 河合 幸一
 ありがとう YK さようならまたあおう 河合 裕司
 again and again 川瀬 哲広
 NEXT! 小谷 和弘
 Life…! 小林 初
 人間失格。日本語ってすばらしい… 近藤 春海
 A Sound mind in a sound body 篠田 辰次
 Keep your smile 田中 敏郎
 栄 枯 盛 衰 棚橋 政利
 There is no royal road to leaning 土井田昌孝
 Seeing is beleiving 中島 正和
 Thank you everyone 菱田 真一
 Great hopes makes gread men 森 秋博
 Hand in hand 森島 浩
 Prisoner 安田 秀雄
 I LOVE ×××…… 吉田 正広
 Life is full of troubles 吉安 鉄雄
 精一杯努力 山中 利一
 自分の人生の中では、誰もが皆主人公 朝倉 晴子
 過去も遠く 未来も遠い 浅野 恵子
 Practicemakes perfect 飼沼 浩美

「ここで死ねる」と叫んだ君の言葉は
 必ず嘘ではない、けれど必ず本当でもない 加藤さゆり
 見えなくなると、忘れ去られる 加納幸姫美
 ひとりの友が去り、また新しい友が生まれる

青春とはそうした時代 国枝 文子
 今 風は南から 長渕剛 近藤 千鶴
 思いやりとやさしさがあれば、言葉なんて

いらない…… 清水あけみ
 学問に王道はなし 高橋 和子
 人はみな心のどこかに淋しさを抱いて生きている……

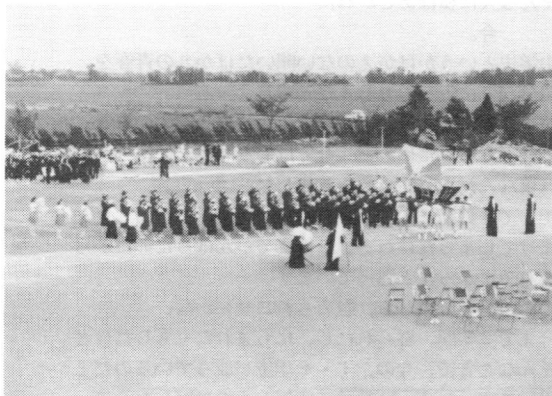
辻村みどり
 愛の光なき人生は無価値なり 中島 千里
 涙があり・喜びがある、その中で青春の日々が

過ぎてゆく 中島美恵子
 淋しいときそっとふり返るとなつかしい

友だちがそこにいる 西脇 明美
 まさかの友は真の友 西脇久美子
 汗を流し、涙を流し、青春とは、

しょっぱい味がする 古田真貴子
 Two heads are better than one 箕浦たか子
 友情は瞬間が咲かせる花であり

そして時間が実らせる果実である 森島 美香
 勇気何ごともおそれない心。正しいことを
 つらぬくには勇気がいる 森島美枝子



卒業おめでとう お元気で

在校生のことば

喬木のよう

中嶋 由美

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。
皆さんと一緒に生活できたのは、一年という短かい間でしたが、私たちの胸の中は、数えきれない色々な思い出でいっぱいです。部活等では、たまに厳しくもされましたが、ふだんは冗談を言いあったり、私たちが入学する前の事等色々と話してくれました。そんな三年生がいなくなると、とてもさびしい気持ちになります。それぞれ新しい世界に向かって出発するので喜ばなくてはなりません。新たに旅立つ三年生の皆さんにこの詩を送ります。

「この若人の伸びゆくありさま まっすぐに伸びてゆく喬木のように 命の芽生のぐんぐんと伸びる そこの青空へも背い伸びをすればとどくように せいも高くなり胸はばもひろくなった たいそううらかな春の空気をすいこんで どんなに命の芽生たちが伸びてゆくことか 草木は草木でいっせいに ああ どんなにぐんぐんと伸びてゆくことか ひろびろとした野原にねころんで まことに愉快な夢をみつづけた」
皆さん、お体に気を付けて頑張ってください。

どうもありがとうございました。卒業しても私たちのことを忘れないでね。さようなら。

アンデスを飛びかう

コンドルのように

中嶋 淳子

「仰げば尊し我師の恩……」というメロディーがかすかに響いてくるような気がします。

緑豊かな田園の中に建つ校舎で学ばれかえるの合唱をバックに学習をし、伊吹おろしの道を通学し、体育祭や陸上大会には全力で闘志し限りない記録を生んだ先輩。それは私達にとっても先輩にとっても素晴らしい収穫だったと思います。

“受験ナンテ”とうわの空で聞いていたこの言葉が先輩の卒業と共に交錯して頭の中を駆け巡ります。

初めて受験という学年に直面しようとし輪之内中学校をになおうとする私達にとってあまりにも悩まされる言葉となりました。

こんな立場に立ったからこそよけいに貴重な先輩の存在を感じます。

そして先輩の残して下さった校風と伝統という宝をほり起こしほり返し進んでいこうと思います。

アンデスの山々を翼いっぱい広げて飛んでゆくコンドルのように力いっぱいばたいて下さい。中学校での美しき思い出と共に……。

先輩本当にありがとうございました。

みなさん ありがとう

金森 成幸

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

さくらの花のさくころに、ぼくたちは入学しました。入学して、何もわからない時、「ちがう、ちがう、そんなことやのやねえ。」と、いじわるそうな先輩の心の中にも、やさしい気持ちがあり、一年もあっという間に過ぎさってしまいました。この一年の中には、いろいろなことがありました。委員会・部会・体育祭・文化祭・水泳大会・ロードレース大会など、いろいろ学ぶ事が出来ました。

中でも、委員会では小学校に比べて、自分達で勤めることや、交通・歌声・校風など、委員会の数もふえ、複雑だった。

体育祭では、朝早くからと放課後とで、いっしょうけんめい作った（ゼロ戦）も、台風のために、骨組だけになり、応えん合戦の時、ゼロ戦に向かってもくとうをするということになってしまった。

文化祭では、今年から始めたのが、思ったより成功した。来年も、今年以上に成功するようにがんばります。

長いようで短かった一年間、何もわからないぼくたちを、みちびいてくださって、ありがとう。三年生のみなさん、体に気をつけてがんばってください。

心に残っていること

川村千奈美

いつも大地に足を踏みしめ
周囲をぐるぐるめぐっていく

物像の変化にとらわれず

自分を見失わず

自分の道をかんぜん進む人

そんな人に私はあこがれた

今。

中学生というかけがえのない開いたばかりの青春を

自分なりに色をぬりおえた先輩方

一番、先輩とのふれあいのあった時間 部活のとき

よくどなれたけれど 今ではもうきけないありがたい言葉なんだと感じさせられました。

そして体育祭

まけてしまったけれど、最後までがんばったのだからそれでよかったと思っています。

これも又、先輩から、慰められたせいかな、

今まで2年間、怒られたし、にらまれたりもしたけどそんなことで、今の、1・2年生が成っているのだと思います。しめった受験の空気からぬけだしたら

何事にも真正面からぶつかっていくエネルギーな行動を、これからの自分の青春にぶつけていってください。

大地をしっかりと踏みしめて……

PTAの皆さんから

青木 秀子

中学校の入学式に送って行ったのがついこの間のように思われます。しかし、早いものでもう三年間が過ぎ去り、あとわずかです卒業をしようとしております。

今が、人生のスタートのように思います、どの子も高校へと、また就職へと、真剣に考えて決められていると思います。この間私の子供が「高校に行って知らない人ばかりなので、心配だな。」と言っていました、このきびしい世の中で心配もあるでしょうが、

一步一步をしっかりと踏みしめ、りっぱな社会人になるよう望みます。

河合 幸子

卒業生の皆さん、おめでとうございます。あなた達は、今一人の社会人として第一歩を踏み出そうとしています。責任ある行動と忍耐を忘れず、大地をしっかりと踏みしめ、一步一步前進して下さい。

浅野とし子

3月一この月は場所によっては気候も生活様式も、大変な違いを見せる月です。子供達にとって1つの学年のしめくくりの月ということで、共通した思いが流れます。1年をふり返って「自分でも力のかぎりがんばって、はりあいのある年だった」「思う様に自分の力を発揮する事が出来なかった」「新しい学年こそはがんばろう」子供達の年齢によってその思いの強弱や形に違いはありますが、子供達の心が複雑かつ微妙に揺れる月であります。「人生には岐路がある、その時は絶対に困難と思われる方を選び、そうすれば必ず道は開ける」どの子にとってもいい3月であるように、と私は祈ります。

小柳千代子

御卒業おめでとうございます
義務教育も夢のように過ぎ、皆さんは進学又は実社会へと歩まれる道はちがっても、いつも輪之内中学卒業である誇りと 校訓の（開拓精神）を基に80年代の立派な社会人として成長されるよう望みます

近藤 豊子

七転八起 この言葉は、私が就職する前日に今は亡き父に教えられた言葉なのです。「就職すればおそろしく失敗することがあるだろうが、七転八起の気持を大切に、何事にもあつれば、職場で大切な歯車の一人になれるよと……。」この言葉は今も私のささえになって、心の片隅に残っているのです。

牧野 佳子

御卒業おめでとうございます。

またひとつ大きくなるために、殻を脱いだあなたがたに今日の友とは違う友が待っています。三年前のあなたと同じように、良き友を得て、また一段と大きくなって下さい。

いちにち一日、全力投球で努力したことが、あすのあなたをより大きくするのだと思います。みんながテレビ、ラジオ、スポーツ等ですばらしいと思う人も、きっとその人が全力投球している姿にうたれるのだと思います。他人事でなく自分のものにしましょう。

浅井登美子

ご卒業おめでとうございます。

9カ年の義務教育を終え、これからは、高校、あるいは、実社会へと巣立って行かれますが、前途にはきびしさが待っています。

わが行道に

茂多し

されど生命の道はひとつ

この外に道なし この道を行く

努力されますように。

伊藤美代子

古い諺に、“千里の道も一歩から”と言います。今更、理屈を言うつもりはありません。意味は皆様よく御存じだと思います。“言うは易し、行なうは難し”と言う諺もあります。両者の意味をよく理解し将来へ進むならば、恩師ならびに御両親に報いる事ができる最大の道と考えます。

若さと気力で……

篠田 朝子

9年間の義務教育を終えて、これからは、自分の将来に向かって農業高校、工業高校、商業高校、又は、専門学校へと進まれる事と思います。石の上にも三年と言う言葉がありますが、途中で挫けることなく最後までやりぬく辛抱強い人間に成ってほしいものです、何と言っても人生大成するには努力の積み重ねでございます。努力8分運2分位ではないでしょうか。よく考えよと思ったら最後までやりぬく人間に成長される事を望むものです。色々のご指導下さいました先生の教えをよく守り、又、両親への感謝の気持を忘れず世の為、人の為になれる人間になって下さい、そうする事が自分の為だと思います。

坂 香世子

義務教育を終え、卒業生の皆さんお目出とうございます。人間一生の内には色々な事があると思います。

どこかに楽ができる人生があると思っはいけない。

どんな苦勞ものり越えて、二度と迷いの人生にならないように努力しよう。

P T A 研修会を顧みて

1 年学年代表 小沢 美春

昨年は、新中学生生活、受験戦争へのスタートと未知への遭遇で私達にとって何かと、とまどう事ばかりでした。断絶の時代と言われ、子供達が何を考え行動し、勉強しようとしているのかを充分認識し、親子間のスキンシップを求めて、活動してきました。その手始めとして5月に先生より「勉強のコツ」「生活の記録から」等の資料を頂き会員間で活発な意見の交換がなされました。特に1月には、映画と1年間の生活の実例を基にした学校長のお話を聴き、子供達と共にこうした共通の場を持つ事は大変有意義な試みだったと思います。「学校は役場より遠い」とある母親が述懐していますが、こういう事のないよう絶えず先生方と会員との連絡を密にして、多くの方が行事に参加されるよう努めてきました。研修会も回を重ねる如に成果も上がり、全会員の約三分の一が全出席されるに至り、その他の方もその都度積極的に参加され、関心の深さが示されました。先般の教研修会でも現代っ子に「五無主義」が小学生から高校生迄、広がり学力低下、非行化の原因になっているとの報告がなされています。このような事から、団体での生活、個々での生活の重なりを理解し合い、先生とのコミュニケーションをもって難問に対処していく事が望ましく思います。

3 年学年代表 高木 明子

義務教育最後の年、三年生になったのはついこの間のよう
な気がしますが、早くも卒業です。この一年間先生方の暖か
き御指導を戴き卒業できますこと、又御父兄皆様方のご協力
によりましてどうにか過ぎさせて戴けましたことを厚くお礼申
し上げます。

年度始めに如何にして年3回のP T A研修会を持てばよい
かと皆さんからのご意見・ご要望をお聞かせ願ひ、その中よ
り課題をとりまとめて進めさせてもらいました。しかし、第
一回56名、第二回40名、第三回90名の出席でした。司
会のまずき、テーマにも問題はありましたかと思いますが、
もう少し気楽に発言し、研修会に出席してよかった、ため
になった、という会にお互に努力して発展させてもらいた
いと思いました。現在殆んどの子が各々の目的にむかって進学
或いは就職されます、そのために家庭に於ても勉強のことで
頭の中が一ぱいではないでしょうか。しかし、それと共に大切
なことは道德教育の面に於いても、尚一層皆様方のご協力を
戴きまして、又、私達の手で非行から守ってやり、明るい生
活が送れますようにと願うのであります。

母親代表 河合 好子

2 年学年代表 佐藤 豊

二学年P T A最後の研修会が去る一月十七日雪の降る大変
寒い日でしたが、寒さにもかかわらず、多数の御出席を得ま
した事は、P T A会員の方々が進路について、いかに関心を
持っておられるかと云う事は、ここに申し述べる迄もないの
であります。教育の機会均等により、誰もが平等にしかも能
力に応じて教育を受ける事が出来ると云う事は非常によい社
会制度であると思います。しかし、当日も校長先生のお話
にもありましたように、子供の能力を無視し、子供の意志を尊
重せずの進路決定は必ず誤りを招く結果になる事を強調され
たのです。たとえば、となりの子がどこどの学校へ行くか
らうちも行かせるとか、或いは親の虚栄により有名校へ行く
とか、このようなことは決してよい結果が生まれるものでは
ありません。近年は私達親の時代に比較しますと、経済的
にも恵まれ高校教育も半ば準義務教育の時代を感じます。親の
みえとか世間体を気にせず、子供の能力に応じ、子供の意志
を尊重し、人生の将来に誤りのなきを期していただきますと
共に悔のない進路を決定していただきたいものです。

2月のはじめの母親研修会に参加して、「砂の家」という映
画を見ました。その後校長先生の話もありとても有意義な一
日でした。映画の内容はどの家庭でも起りそうな事件を背景
にしたもので、中学生を持つ親として何かを感じ教えてくれ
るものがありました。

受験を控えた子供に対し、合格してほしい親の気持もわか
りますが、もっと親子の暖かい会話があったらなあとか。子
供の飼っている小鳥を家族みんなで世話をして親子の心のつ
ながりを深めるとか。子供が反抗した時に「お母さんはこう
思うけど貴方はどう思うか。」とか。……

映画の主人公は孤独になり自殺にまで追い込むような事は
なかったらこうと思います。

私も親として映画と同じ事に思い当たるどころがあり、とり
かえしのつかない事になったらどうしようと心が痛み、反省
しなければと思いました。

これからは心のしつけが大切だと思い、心も楽しく勉強も
楽しい生活が出来るよう後だてしてやりたいと思います。

四月以来、学年P T A・母親研修会に参加して、大変参考
になり勉強になりました。これからもつとめて参加したいと
思います。